

節電対策に関する調査の結果について

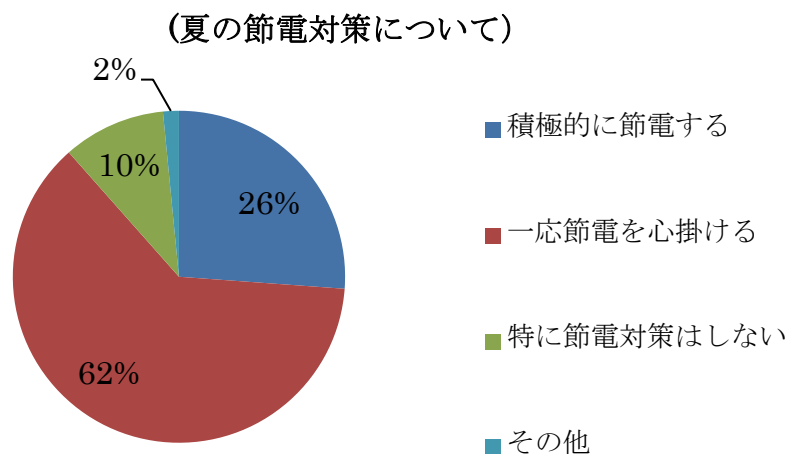
【調査の概要】

1. 目的 電力の供給環境が厳しい中、福井市中央1丁目エリアの店舗等における節電対策や取り組み状況を把握する。
2. 調査期間 平成24年6月18日（月）～6月29日（金）
- 2 対象 福井市中央1丁目エリア227店舗
- 3 調査方法 留め置き方式
- 4 回答数 130店舗（回答率57.3%）

【調査結果の概要】

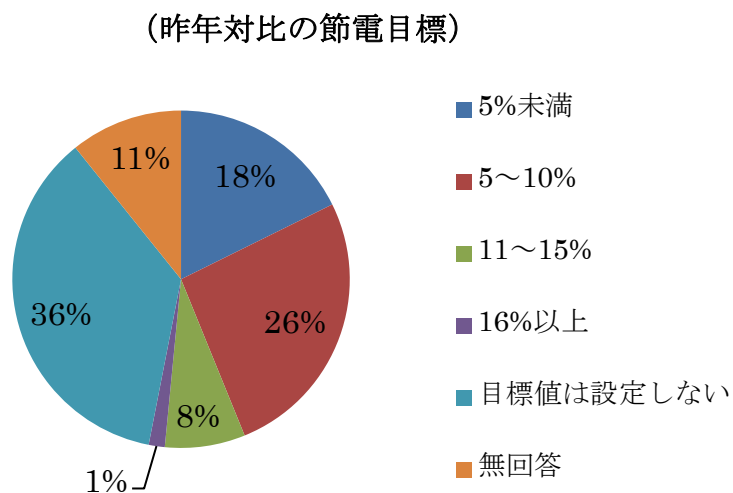
1、今年の夏場に向けた節電対策の取り組みについて

「積極的に節電する」「一応節電を心掛ける」を合わせると88%が節電に努めており、節電に関する意識の高さが窺えた。



2、節電目標について

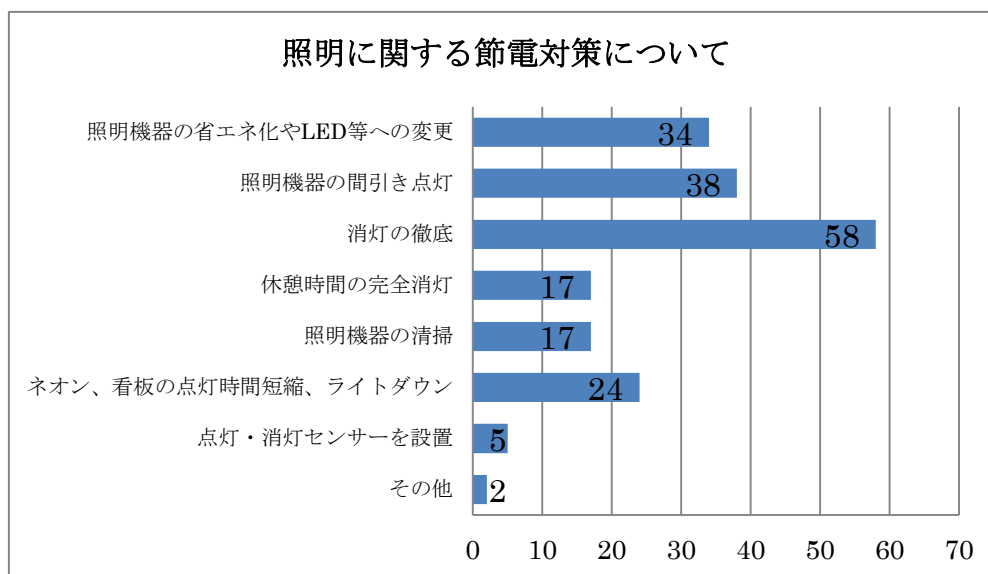
節電目標については「目標値は設定しない」が36%と最も高かった。具体的な数値目標としては「5%~10%」が26%、「5%未満」が18%となっており、10%以上の目標設定は9%に留まっていた。



3、どのような節電対策を行っているか【複数回答】

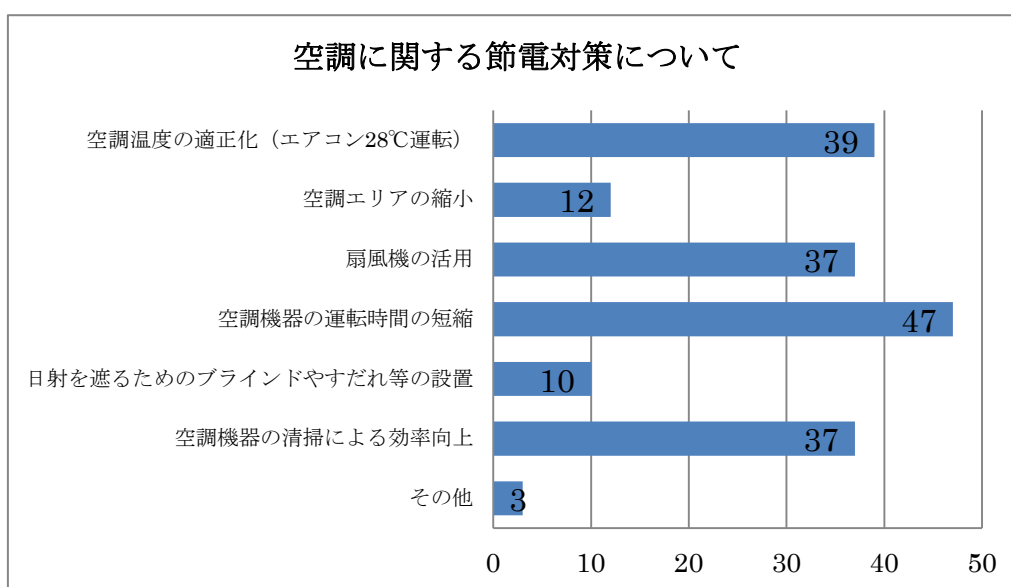
①照明に関する節電対策について

「消灯の徹底」が58%と最も多く、次いで「照明機器の間引き点灯」が38%と多くなっている。費用を伴う「照明機器の省エネ化やLED等への変更」は34%となっている。



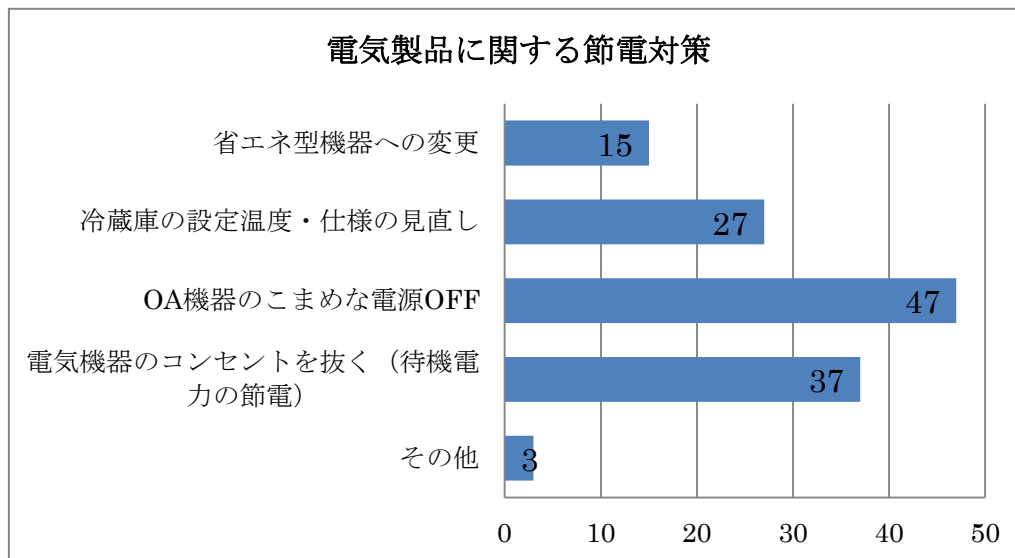
②空調に関する節電対策について【複数回答】

「空調機器の運転時間の短縮」が47%と最も多く、次いで「空調温度の適正化（エアコン28℃運転）」が39%となっている。



③電気製品に関する節電対策【複数回答】

「OA 機器のこまめな電源 OFF」が 47%と多く、次いで「電気機器のコンセントを抜く（待機電力の節電）」が 37%となっている。



④その他の節電の取り組みについて【複数回答】

「店舗前の打ち水の実施」が 68%と最も多く、次いで「従業員に対する節電啓蒙」が 39%となっている。又、一般的に多くの職場で実施されているクールビズについては店舗内環境やファッション性の問題もあり 33%に留まっている。

